

## 器具器械 21 内臓機能検査用器具のうち、生体物理現象検査用センサ(健全な皮膚に接触するものに限る。)

## 生体物理現象検査用センサ

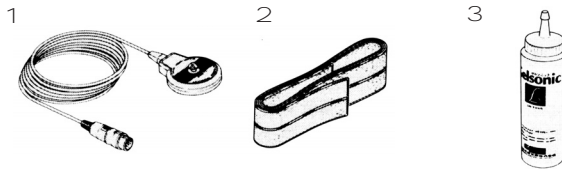
## ドプラトランスデューサ

## 形状・構造等

本品はトランスデューサ内部の超音波振動子により、胎児の心拍動を検出し、電気信号に変換します。

## 構成

	名称(製品コード・コード番号)	個数
1	本体(TU-801P)	1
	付属品	
2	ベルト(1114-192282B)	1
3	ゲルソニック Lタイプ(137406)	1



## 性能・使用目的

## 使用目的

本品は、妊娠時および分娩監視経過中における胎児の心拍動を、超音波によるパルスドプラ法を用いて検出するためのトランスデューサです。本品は分娩監視装置(OMF-8000シリーズ)専用です。

## 性能

## 送受波用振動子

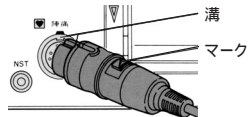
共振周波数  $f_r=1024 \pm 25\text{kHz}$ 共振インピーダンス  $Z_r=100$ 

使用周波数 1066.7kHz

超音波音響出力  $1.5\text{mW}/\text{cm}^2$ 以下

## 操作方法または使用方法等(用法・用量を含む)

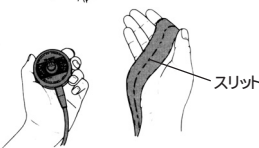
## 装着する



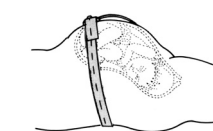
1. トランスデューサをモニタ本体のコネクタ上部にある溝を合わせ、マークが上に来るように差し込みます。



2. トランスデューサのくぼんでいる面に、ゲルソニックを適量塗布します。



3. ベルトのスリットを、トランスデューサの突起部にはめ込みます。



4. トランスデューサを腹壁上に置きます。(胎児の背中側で腹の黒い部分、または子宮底の近辺に置いてください。)ベルトを引っ張ってトランスデューサのノブにベルトの穴を差し込み、固定します。

0654-000476

## 清掃、消毒方法

## トランスデューサ

汚れたときは脱脂綿などに、中性洗剤、石鹼水、消毒用アルコールを含ませて拭いてください。

【注】• コードの部分を消毒用アルコールで長期にわたって拭くと、表面が徐々に硬化し、性能劣化につながりますので注意してください。

• 70 以上の熱を加えたり、シンナー、ベンジンなどで拭くことは避けてください。変形やひび割れの原因となります。

## ベルト

汚れたときは、ぬるま湯または石鹼水で洗ってください。ベルトはゴムを使用しているため、長時間使用すると弾力性が失われます。この場合は、新しいベルトに換えてください。

## 使用上の注意

使用注意(次の患者には慎重に適用すること)

天然ゴムアレルギー患者[本品のベルトは天然ゴムを使用しています。天然ゴムは、かゆみ、発赤、蕁麻疹、むくみ、発熱、呼吸困難、喘息様症状、血圧低下、ショックなどのアレルギー性症状をまれに起こすことがあります。]

## 重要な基本的注意事項

- 傷および炎症のある部位には装着しないでください。
- トランスデューサの受圧部に過大な力をかけないでください。トランスデューサが破損することがあります。
- 指定外の製品に使用しないでください。

## 作動・動作原理

本品は、超音波振動子7個を配置して超音波を送受信することにより、胎児の心拍動を検出しDCアンプにて増幅し信号を出力します。

## 貯蔵方法および使用期間等

## 使用環境条件

温度範囲 10 ~ 40  
湿度範囲 45 ~ 95 % (結露なきこと)  
気圧範囲 70 ~ 106 kPa

## 保存環境条件

温度範囲 - 20 ~ 65  
湿度範囲 30 ~ 85 % (結露なきこと)  
気圧範囲 70 ~ 106 kPa

## 保守・点検に係る事項

- 本品の点検はコネクタをモニタ本体に接続し、受圧部を軽く触れたときにモニタ上に波形が現れることを確認してください。
- 本品の分解および修理は行わないでください。
- 本品に異常がある場合は、速やかに交換してください。

## 包装単位

1個 / 1箱